

REFINITIV. リフィニティブ

高校生向け
資産
形成
がわかる



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

知りたい

投信 なるほど
リッパー

1ドルの値段はいくら？

円高・円安はシーソーで考えよう

海外との行き来はまだ難しい状況ですが、為替のお話をしましょう。「今日の外国為替市場は1ドル=××円」とニュースで耳にしますね。これは、日本円と米ドルを交換する比率の「為替レート」のこと。「外国為替市場」は業者同士の交換所で、ユーロなどほかの通貨も取引されます。

例えば、為替レートは二つの通貨のシーソー。片方の力が強いと傾きます＝イラスト。日本はアメリカと経済的な結びつきが強いので、円と

ドルで考えましょう。

通貨の強さは、その国の金利や経済力、政治の安定性、生活の安全性などで決まります。「円安」と「ドル高」は表裏一体なので、単に「円安」と呼ぶことも。例えば、1ドル=100円から時間が経過し、1ドル=120円になったら「円安が進んだ」と言います。いくらから円安という基準はなく、高いか安いかは、ある時点のレートと比べて決まります。

ところで、100円から120円

為替レートは二つの通貨のシーソー(円とドルの場合)



為替レートは二つの通貨を比べて、片方が強い(高い)と他方は弱く(低)くなる。片方の通貨の単位当たりの相対的な力

こんな場面で円高・円安はどう影響する？

	1ドル=100円 円高ドル安	1ドル=120円 円安ドル高
輸入品の代金を払う	少ない円の支払いで済む (1万ドルの商品が100万円)	円を多く支払う (1万ドルの商品が120万円)
日本製品の米国での値段	高くなる (1万円の商品が100ドル) ↳ 値段が高くて売れにくい	安くなる (1万円の商品が83.33ドル) ↳ 値段が安いのでたくさん売れる
海外から日本に旅行	日本での買い物が高くなる (1万円のホテル代が100ドル) ↳ 訪日外国人客が減る	日本での買い物が安くなる (1万円のホテル代が83.33ドル) ↳ 訪日外国人客が増える
外国への投資を円に戻す	受け取れる円は少ない (1000ドル分売って戻すと10万円)	受け取れる円は多い (1000ドル分売って戻すと12万円)

へ数字が大きくなるのに「円安」って言うのは不思議ですね。米国への海外旅行で説明します。

準備するお金を1000ドルとしましょう。1ドル=100円なら10万円。1ドル=120円では12万円が必要です。同じ1000ドルに交換するのに2万円余計にかかるので、1ドル=120円の方がドルより円が弱い「円安」です。

帰国する時はどうか。余ったお金が100ドルあり、空港で1ドル=100円の日両替した

ら1万円。もし1ドル=120円なら1万2000円です。ドルから円に替える場合は、1ドル=120円の方がうれしいですね。持っているドルの価値が高く、円が安いので、受け取れる円が多くなります。

円高・円安は、いろいろな場面で影響します＝表。資産形成をするなら、国内だけより世界へ投資先を広げた方がリスク分散できます。円高の時に日本から米国へ投資し、ドル高の時に米国から日本へ戻すと有利になりますね。